

集団と出会う子どもたち

—子どもの育ちを支える専門職の仕事—

学童保育は、異年齢の子ども集団です。カリキュラムのない自由な放課後の時間に、年齢・個性・もつ力もさまざまな子どもたちが集まることで、集団ならではのトラブルも起きてきます。例えば、発達にしんどさをもつ子どもたちをどう集団に巻き込んでいくかは、現場にとって頭を悩ます課題ともなります。ときには厄介なかたまりに見える「集団」も、その関わりの基本は「個人」です。その場に応じた適切な支援を行うには、まず一人ひとりの子どもを知る必要があると考えます。今回の専門セミナーでは、3人の先生方をお迎えし、基本となる子どもの発達の学びを中心に、集団の中で気になる子どもへの支援や、専門職に求められる技能について考えていきます。5月の初回の講座の後には、軽食を囲んで参加者の懇談の場(参加費無料)をもちたいと思います。どうぞふるってご参加ください。

場所

龍谷大学瀬田キャンパス
RECホール内1F 小ホール

**対象
定員**

学童保育指導員、その他児童関係者
各回 60名 (先着順)

参加費

1回あたり 福祉フォーラム会員・REC会員 **1,000円** 一般 **2,000円**

I 5/15 日 10:00~12:40
終了後、ミーティング(参加自由)

テーマ フレッシュマン(1年生)と集団との出会い

4月に初めて学童保育と出会う子どもたちは、環境の変化を受け、混乱のさなかにいることも多い。そして、それを迎える側の子どもたちも、新しい出会いの緊張の中にいる。子どもにとっての「初めて」の意味を考え、それを支える側の大人の役割を考える。

* 現場の課題の共有を目的に、講座終了後、ミーティングを開催します。是非、ご参加ください。

担当 川地 亜弥子 氏
(大阪電気通信大学准教授)

II 7/3 日 10:00~12:40

テーマ トラブルこそチャンス
—集団の中で育っていく子どもたち—

子ども同士のトラブルは、集団で過ごすからこそ生じる。そこで生じるトラブルは一面では子どもたちが発達するためのかけがえのない栄養分になる可能性がある。そのために、何をどのように大切にしたら介入が必要なのだろうか。発達障がいをもつ子どもたちの姿を念頭に置いて、専門職の役割について考えてみたい。

担当 中村 隆一 氏
(立命館大学教授・天津市知的障がい者
地域生活支援センター発達相談員)

III 10/9 日 10:00~12:40

テーマ 子どもの発達に気付くために—講義と演習—

子どもの発達に気付き、その気付きを積み上げていくためには記録が重要となる。また、実践記録の重要性もよく指摘される。しかし、日々の記録にあたってことばが浮かばない「いらだたしさ」や「歯がゆさ」を感じたことはないだろうか。子どもの見せる姿の何を切り取りどう言語化するのかについて講義と演習を通じて学ぶ。

担当 中村 隆一 氏
(立命館大学教授・天津市知的障がい者
地域生活支援センター発達相談員)

IV 12/11 日 10:00~12:40

テーマ 集団の中の子どもたち
—講義と実践の交流—

集団の中で子どもがみせる様々な行動の背景にある思いを理解していく視点を、まず講義形式で問題提起し、続いて実践の中での気付きを発信していただきながら、大切な事実を共有していきたい。

担当 白石 正久
(龍谷大学社会学部教授)

●手話・要約筆記をご希望される方は事前にお申込みください。

お問い合わせ

龍谷大学福祉フォーラム事務局(REC滋賀)

〒520-2194 滋賀県大津市瀬田大江町横谷1-5

TEL/077-543-7744 FAX/077-543-7771 E-mail/r-fukushi@ad.ryukoku.ac.jp

ホームページ/http://rec.seta.ryukoku.ac.jp/fukushi/ (受付時間:月曜日~金曜日 9:00~16:30)

※土曜・日曜・祝日及び大学が定める休日・8月11日~18日は、受付業務を行っておりません。龍谷大学は、学内全面禁煙です。